

国会闘争速報

2006年11月3日 第14号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkaitousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

2日の国会前 ハンスト団中心に800人 「現場はがまんの限界」と怒りの声あいつぐ



公聴会日程が決まり、12日目のハンストは緊迫した中で闘われた。ハンスト者は東京の元教員Kさん、千葉県佐倉から工藤市議が2回目の参加を含め計4人。「衆院議運が国会前行動

への対応策を検討」の事実が発覚（東京新聞）し、怒りに火がついた。繰り返し特別委員会弾劾のシユプレヒコールだ。



昼近くになるとハンスト支援に人が集まってくる。東京の「日の丸・君が代」被処分者4人も勤務の合間をぬって駆けつけてきた。またハンスト団の左隣では12時15分から全教・全労連の国会前集会と座り込みが始まり、右隣では日教組の座り込みが始まった。国会前は約800人の教基法改悪反対勢力で埋め尽くされ、休み

なく集会が行われている状況だ。日教組集会でも、現場は我慢の限界という声があいついだ。「評価育成制度が指導力不足問題をつくっているのだ」「毎日勤務後に10キロの道のりを家庭訪問。限界だ」「民主党議員はなぜあんなどうでもいい質問ばかりするのか」と。本部は絶対にこの現場の怒りに向き合う義務がある。

夕方のハンスト支援集会で「障害児を普通学校へ全国連絡会」の北村小夜さんが発言した。「愛国心教育は学校も家庭もすべてを動員する。私も戦前その中で軍国少女に育った。その恨みをはらし、軍国主義教育の復活を阻むためにここにいる。改悪を許してはならない」。二度と侵略戦争を繰り返さないために、さらに一人でも多くの国会前行動を！

教基法改悪の衆院採決

9日～14日が危ない

共謀罪も連動 いつでも緊急行動に立てる体制を

週明けからの国会は、いよいよ最大の山場を迎えます。8日には仙台、宇都宮、津、名古屋の全国4カ所で地方公聴会が開催されます。9日以降はいつでも採決可能な情勢に入ります。政府・与党は、会期内に成立させるためには遅くとも14日までに衆院通過が必要として、採決

強行の機会をうかがっています。いったん「先送り」を表明した共謀罪についても、教基法改悪の強行突破と同時に一挙に審議再開・即採決を狙う動きがあり、油断はなりません。一切は、国会包囲の大衆行動の力にかかっています。年休をとって国会前につけよう！

来週の国会行動

- ◎教育労働者のリレーハンスト
6～10日 9時～18時
- ◎日教組・東京教組の座り込み
6～10日 13時～18時
- ◎日韓米労働者の国会行動
6日 10時 国会前結集
- ◎全国連絡会の国会前集会
7日 18～19時
- ◎10日 諸団体の一斉行動

11・5日比谷

(オープニング)
午前11時

11・6国会前

(午前10時)

へ

国会審議

「学習指導要領は法律」(?!)

政府・自民党と民主党が一緒になって
9・21判決の否定に躍起

10月31日の衆院特別委で、断じて見過ごすことのできないやりとりが行われました。自民党議員が「日の丸・君が代の強制は違憲」とした9・21判決を批判して、都教委の10・23通達に従うのは「教員の職務上の義務ではないか」と質問しました。伊吹文科相がこれに答えて「(国旗・国歌の実施を定めた)学習指導要領は法律の一部だ。これに従って学校の管理・指導をしていただくのは当然のこと」と言い放ち、9・21判決を頭から否定したのです。

さらに文科省は、教育委員会の命令や指導は教基法10条の「不当な支配」には当たらないことを明確にするため、政府の改悪案には新たに「法

の定めるところにより」の文言を入れたと説明しました。許せないのは、民主党の議

員も「公立学校の教職員は法律や告示に従い、義務を果たすことが求められている」と伊吹発言に全面的に賛同したことです。「いじめ」「履修不足」を「教師の規範意識の欠如が原因」(安倍)などと、教育労働者へのバッシングに転化することにも同調しています。こんな民主党にすりよる日教組本部は自分の首を絞めているのと同じです!

1日には、内閣府が世論誘導のためにタウンミーティングでの悪質な「やらせ」を組織していた事実が暴露されました。安倍政権は本当に腐っています。打ち倒そう!

11・5全国労働者総決起集会

日比谷野外音楽堂・11時半開会



海外からのアピール

韓国から 民主労総ソウル本部
アメリカから

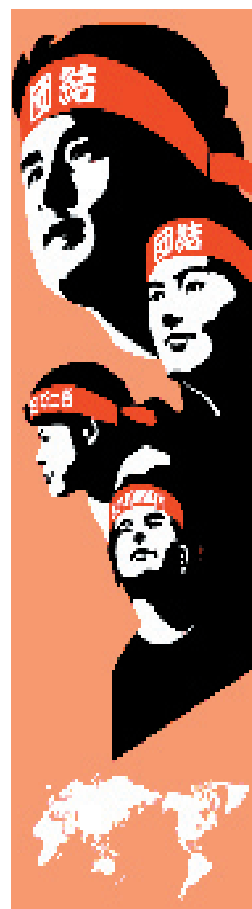
ILWU (国際港湾倉庫労組)

AMFA (ノースウエスト航空整備士労組)

●連帯の挨拶

佐藤昭夫／高山俊吉／小田原紀雄
「日の丸・君が代」不起立被処分者
国鉄1047名解雇撤回闘争から
職場で闘う仲間から

呼びかけ 全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部
全国金属機械港合同
国鉄千葉動力車労働組合



改憲・戦争と民営化の労組破壊に
立ち向かう労働者の国際的団結を

11・5は労働組合の闘う力と 労働者の誇りを蘇らせる集会

教基法改悪を阻止し、戦争と改憲への道を阻むために今、最も必要なことは何でしょうか。労働組合の闘う力を根底からよみがえらせることではないでしょうか。極

右勢力をバックにし巨大与党をもつ安倍政権がそれでもなお、戦争・改憲に一直線に突撃できずにいるのは労働者の怒りが本格的に爆発することを恐れているからです。だからこそ日教組破壊に必死なのです。動労千葉など闘う3労組が呼びかける11・5集会は、これと対決して労働運動の再生をちとる集会です。ともに総結集しよう。